

I

地域貢献

大学祭における栄養アセスメント体験・栄養相談

例年、大学祭（藤花祭）において、食物栄養学科と共催で健康維持増進や疾病予防の啓発活動の一環として、栄養状態の評価（アセスメント）と栄養相談を行っている。昨年度に引き続き、感染対策を徹底したうえで対面で実施した。

この事業の目的は、大学祭の来場者の方々に対して、栄養アセスメントと栄養相談を行うことにより、自身の健康を意識してもらうとともに、管理栄養士を目指す食物栄養学科の学生達が栄養アセスメントを実施することで、将来に役立つコミュニケーション力や実践力を身につけることである。

実施内容や感染対策については、下記の通りである。

実施日時：令和4年11月3日（木・祝）

10：00～15：00

実施場所：京都女子大学B校舎1F B117、B118、B119

主催：京都女子大学栄養クリニック、食物栄養学科

実施責任者：栄養クリニック長 宮脇尚志

実施スタッフ（管理栄養士）：中山玲子、井戸由美子、今井佐恵子、廣瀬潤子、樹山敦子、橋本彩子、中村智子、泉玲子、LS・松並晃子、西本梓、藤原未貴、櫻田美優

学生アルバイト：食物栄養学科20名（1回生6名、2回生4名、3回生8名、院生2名）

実施内容：

(1) 栄養アセスメント

身長、体重、体組成（体脂肪率・骨格筋率・内臓脂肪レベルなど）、骨密度（超音波骨密度測定装置による）の測定、骨密度の結果説明

(2) 栄養相談（希望者のみ）

参加者：参加者223名中、アンケート回収219名（男性66名、女性136名）で、女性が多く、図1に示すように特に50代が多かった。栄養相談の参加者は78名で全体の約35%であった。

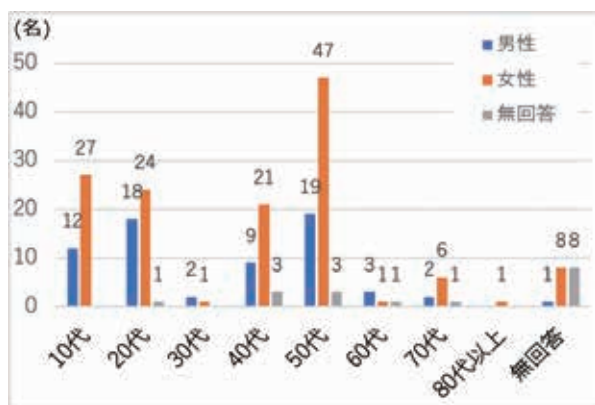


図1 参加者の性別年齢構成

<栄養アセスメント実施に関して>

- ・参加者の滞在時間を短縮するため、栄養アセスメントの測定項目の削減（例年行っていた「ロコモ度テスト」や「サルコペニアの評価」は中止した。）
- ・時間指定による参加者の入場制限
- ・参加者間の十分な間隔が確保できる会場レイアウト
- ・手指と測定機器のアルコール消毒
- ・会場の常時換気
- ・ペンの使いまわし使用禁止
- ・アクリルパーテーションの設置（栄養相談）

<スタッフに関して>

- ・スタッフの人数削減
- ・実施前2週間の体温、体調のチェック
- ・マスク、フェイスシールドの着用
- ・測定ごとの手指の消毒

参加者の満足度：図2に示すように、参加者の栄養アセスメントの満足度は、満足とやや満足の合計が約95%、栄養相談では約99%と非常に高い評価をいただいた。

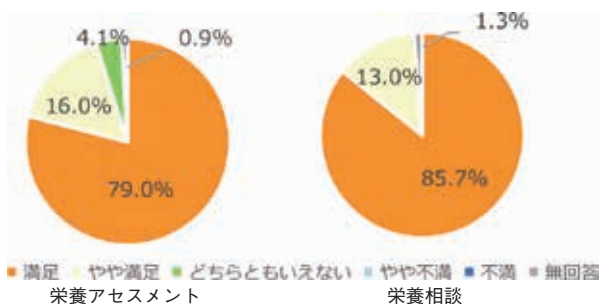


図2 参加者の満足度

感染対策：

<大学祭全体>

- ・来場者はWebで事前予約（人数制限あり）

「満足」と回答した理由

<栄養アセスメント>

- ・骨密度を知れて良かったから。
- ・身体の状態を知る機会になったから。
- ・いつもは知ることのできないことについて知れたので新鮮で勉強になったから。
- ・自分の生活を振り返るきっかけになったから。
- ・丁寧に対応していただき気持ちよく進めたから。
- ・分かりやすい説明だったから。

<栄養相談>

- ・健康についての質問を丁寧に回答してもらえたから。
- ・分かりやすく説明してもらえたから。
- ・栄養の摂り方を具体的に教えてもらったから。
- ・いろいろと食事や運動などアドバイスをもらったから。
- ・具体的に教えてもらい、改善していこうという気持ちになれたから。

参加者の感想：

- ・来年も来ます！
- ・今後も継続してほしい。
- ・丁寧に対応してくださりありがとうございました。
- ・楽しく学べた。
- ・健康について見直そうと思った。
- ・思ったより良くない数値で驚いた。今後気をつけようと思えて良かった。
- ・少し血圧が高くなってきているので栄養相談を受けたい。
- ・回数を増やしてほしい。
- ・とても良い機会を設けていただいた。
- ・こんなに丁寧に測定やお話をしてくださると思っていなかった。

(学生アルバイトの感想はp.38参照)

(松並 晃子)



身長測定



体組成測定



栄養相談